

ヤングアダルト世代へ贈る、ブックガイド

野洲図書館のホームページはこちら→



tel 077-586-0218 fax 077-587-5976

<https://www.lics-saas.nexs-service.jp/yasu/>

「YAのページ」では、司書が週替わりでいろんなことをつぶやいています♪あそびにきてね☆

今号の内容は…

★表紙の1冊 ★司書のオススメ ★新しく入った本 デス

表紙の1冊



二人じゃないと描けない景色を、何度でも。

『僕といた夏を、君が忘れないように。』

国仲シンジ／著 KADOKAWA(メディアワークス文庫) B913.6/7ニ



難関美大を目指す受験生・高木海斗は、夏休みに沖縄の志嘉良島へ旅立った。コンクールに出す絵を描くため、そして感情の伴わない絵しか描けなくなった自分を変えるためだった。風景画を描くのに良いロケーションを探す海斗に、島で出会った風乃という少女が、島民にとって神聖な場所や、景色の良い場所を案内してくれることに。海斗は、人懐っこくて明るい風乃の突拍子もない行動に振り回されながらも、彼女と過ごす時間を楽しく感じるようになり、絵を描きたい気持ちがあふれてくる。海斗の夢を応援してくれる風乃。でも、彼女には残酷な運命が待っていて…。

◆さわやかな表紙を見て、ひと夏の青春ラブストーリーなのかと思って読み始めましたが(実際そうでもあるのですが)、それだけではなかった…。島という閉鎖的な空間だからこそその因習や人魚伝説なんかと絡めてあって、背筋がゾツとする場面も…。明るく振る舞う風乃が、心の中でどんな気持ちを抱えていたか想像すると苦しくなります。「この夏」に二人が出会えて本当に良かった！沖縄出身の作者による、夏におすすめの一冊です。(う)



司書のオススメ



YA担当司書からのオススメです♪

交わることのない平行線—そう思っていた。

『野原できみとピクニック』

濱野京子／著 偕成社 K913/ハマ



裕福な家庭に生まれた生徒たちが集うS高校に通う優弥と、アルバイトをしながら「底辺校」のL高校に通う稀星。家庭環境も成績もまったく異なる二人は、駅の南側で偶然出会う。しかし生徒たちも、周りの大人たちも、両校の生徒は互いに決して混じり合うわけではないと思っていた。違いを感じながらそれを受け止め、少しずつひかれあう優弥と稀星は、両校に橋をかけられないかと、あるイベントを思いつく。

◆無知と偏見って本当にこわいな、と。「思いこみ」により、別の世界の人間だと思っていた優弥と稀星が、ようやく心を通わせ、もっと広い世界に橋をかけようと思った矢先、大人たちの「思いこみ」のせいで…。こっちまでくやしくなります！一見ほのぼのしたタイトルをしていますが、「野原で」「きみと」「ピクニック」ができることの意味の大きさを伝える、よく考えぬかれたタイトルだと、読後いたく感動しました。(ざ)

未来に備える休みかた

『学校では教えてくれない自分を休ませる方法』

井上祐紀／著 KADOKAWA K498



コロナで目標がなくなった、無性にイライラする、ゲームがやめられない…。休むことは悪でも負けでもありません。つらさを感じたときには休もう！精神科医が、自分を助けるために役立つ3つのステップと、問題解決の手段としての「休みかた」を紹介します。

◆学校を休む。眠る。休憩をとる。などいろいろなお休みがあるけれど、休むの本来の意味とは「休憩をとってリフレッシュすること」です。だとすると、う～ん。私たちはしっかり休めているでしょうか？友だちに嫌われてしまったかも。自分はなんにもできない…。既読がつかない…。などなど、モヤモヤがどんどん加速することありますよね。人の脳には、「いやなことはしっかり覚えているけど、よいことは忘れやすい」特徴があるそうです。自分のモヤモヤが今どの地点なのか、ちょっと立ち止まってみることで、自己解決できることもあるかもしれません。心や体がしんどいままがんばるのではなく、立ち止まって、自分を守り、力を蓄えるために自分の気持ちを立て直す方法をおしえてくれます。(る)



『浮遊世界のエアロノーツ』

森日向／著 KADOKAWA(電撃文庫) B913.6/㊦

地上が消滅した世界。人々は空に浮かぶ島で暮らしていた。そんな島から島へ、飛行船で旅する生活を続ける泊人とARIA。ARIAは、普通の人には使えない能力を持つ「干渉者」で、力の暴走を泊人に助けられたことで、一緒に旅をしていた。そんな泊人にも、旅を続ける大きな理由があり—。

◆久しぶりに心がじわーっと温くなる素敵ファンタジーに出会いました。空に浮かぶ島と泊人とARIAが乗る飛行船が目に見えるよう。自身も辛い過去を背負いながら、そうとは感じさせないほど明るく純粋に、島の人々を助けようと奮闘するARIAに、心が洗われます。二人は訪れる島々で、難解なミッションをもちかけられるのですが、裏の裏のそのまた裏をかいてくる展開がたまりません！（ざ）

滅亡までの110日間にしかできないこと、一緒に探しましょう

『われら滅亡地球学クラブ』

向井湘吾／著 幻冬舎 B913.6/㊦

「妖星デルタ」が地球に衝突すると発表されてから世界は一変した。各地で暴動が起り、大人たちが次々に失踪。教師不在で自習ばかりの高校に通う玉華、碧、刹那の3人は、死ぬ前に今しかできないことをする「滅亡地球学クラブ」として活動していた。「山小屋カメラ」を完成させて、次は「滅亡までの歴史」をまとめようと文系が得意そうな新入生を勧誘するが、彼にはある目標があって…。大人になれない高校生たちの、それでも前向きに生き方を探す物語。

◆叶えたい夢があって今まで努力してきたのに、地球の滅亡により全てが無駄になってしまう…と絶望した刹那。そんな時に、自分の知識が生かせる「滅地部」と出会って、「無駄じゃない」と思えたシーンが印象に残りました。他のメンバーも色々抱えているものがあるのですが、お互いに支えあう姿に心打たれました。解説にも書いてありましたが、コロナ禍の今と重なる部分もあり、当たり前な日常が変わってしまった時に、自分はどうかしたいか？考えさせられる作品です。（う）



『悪魔の食べ合わせレシピ』

鈴木隆一／著 講談社 596.04

バナナ+シラス、カレー+ピノアイス、マーボー豆腐+インスタントコーヒー、プリン+納豆…!? 人工舌「味覚センサーレオ」が科学的にはじきだした、食べ始めたら止まらない、本当においしい「無限レシピ」を紹介します。

◆おいしさの基準は人それぞれですが、たくさんの日本人に食べ物・飲み物の味を点数評価した集計をAI(人工知能)に学習させ、誕生したのが、人工舌『味覚センサーレオ』(以下レオくん)です。

レオくんは、日本人の好みを熟知していますが、私たちのような固定概念がないため、斬新でありながらも、絶対的においしい新境地を開拓できます。ただし、レオくんにかかれば、やめられないとまらない、無限ループな悪魔の味覚を生み出してしまう。なんて危険も!?

某ジ●リアニメ(女の子が妖怪たちとお風呂屋さんで働く作品)の父母みたくブタさんになっちゃうかも…。覚悟をもってお試しあれ。(る)

NEW ARRIVALS

↓あたらしくはいったほん(の、ほんの一部)です↓

タイトル		著者	出版社
ネット・スマホ攻略術		山崎 聡一郎／著	講談社
13歳からのイスラーム		長沢 栄治／監修	かもがわ出版
将来が見えてくる!日本の給料&職業図鑑 Special		給料 BANK／著	宝島社
親の期待に応えなくていい		鴻上 尚史／著	小学館
大学受験案内 2022年度用		晶文社学校案内編集部／編集	晶文社
社会を変えた50人の女性アーティストたち		レイチェル・イグノトフスキー／著	創元社
俳句部、はじめました		神野 紗希／著	岩波書店
本好きの下剋上 第5部[5]		香月 美夜／著	T0 ブックス
水属性の魔法使い 第1部[1]		久宝 忠／著	T0 ブックス
いちご×ロック		黒川 裕子／著	講談社
5分後に意外な結末Q		桃戸 ハル／著	学研プラス
魔女の旅々 16		白石 定規／著	SBクリエイティブ
掟上今日子の鑑札票		西尾 維新／著	講談社
イカル荘へようこそ		にしがき ようこ／著	PHP 研究所
都会(まち)のトム&ソーヤ 17		はやみね かおる／[著]	講談社
転生したらスライムだった件 18		伏瀬／著	マイクロマガジン社
Unnamed Memory 6		古宮 九時／著	KADOKAWA
はなの街オペラ		森川 成美／作	くもん出版
見つけ隊と燃える小屋のなぞ		イーニッド・ブライトン／著	早川書房
12歳のロボット		リー・ベーコン／著	早川書房
ゴースト・ボーイズ		ジュエル・パーカー・ローズ／著	評論社
春夏秋冬代行者 上・下		暁 佳奈／著	KADOKAWA
創約とある魔術の禁書目録(インデックス) 4		鎌池 和馬／[著]	KADOKAWA
ユア・フォルマ		菊石 まれほ／[著]	KADOKAWA
ホーンテッド・キャンパス 18		櫛木 理宇／[著]	KADOKAWA
ギルドの受付嬢ですが、残業は嫌なのでボスをソロ討伐しようと思います		香坂 マト／著	KADOKAWA
メイジアン・カンパニー 2		佐島 勤／[著]	KADOKAWA
恋は双子で割り切れない		高村 資本／[著]	KADOKAWA
スパイ教室短編集 01		竹町／著	KADOKAWA
Re:ゼロから始める異世界生活 26		長月 達平／著	KADOKAWA
モルグ街の美少年		西尾 維新／著	講談社
元カノが転校してきて気まずい小暮理知の、畏と恋。		野村 美月／[著]	小学館
薬屋のひとりごと 11		日向 夏／[著]	主婦の友インフォス
千歳くんはラムネ瓶のなか 5		裕夢／[著]	小学館
やはり俺の青春ラブコメはまちがっている。 14.5		渡 航／[著]	小学館

編集後記：◆中学生さんと「やすど」を製作するのを楽しみにしていたのですが、職場体験が中止となり司書3人のおすすめ本紹介となりました。また皆さんの好きな本を教えてもらう機会があるといいなと思っております。(う) ◆私が「キュン」ポーズだと思って得意げにしていたのが、どっちかというフレミング左手の法則だったので、この機会に教えてもらいました。「そう!塩をつまむように! (?) はい、手首を返して……」できた!これで私もポケットからキュンを取り出せます。(ざ) ◆暑い日が続きますね。私はコーラ中毒なので、水分補給は、ほぼコーラでまかっています。これまでの人生でびわ湖一杯分のコーラを飲んだかもしれません。(る)